

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術 コース	音楽文化 専攻	対象学年	1年
講義日	令和 8 年 ① 11 月 24 日（火）・② 12 月 7 日(月)			
テーマ	民族音楽の諸相 ①子どもの遊びと音 ・ ② 地域の祭りと音			
講 師	大阪音楽大学 講師 北見 真智子			
講義内容				
1. 講義のねらい： 日本には、子どもの遊びや祭り、年中行事など、人々の暮らしのなかで受け継がれてきた多様な音や歌があります。本講座では、子どもの遊び歌であるわらべうたや、祭礼・民俗芸能の事例を取り上げ、音源や映像資料を交えながら、その歴史的背景や伝承の仕組みについて学びます。 また、受講生自身の経験や記憶も手がかりとしながら、人々の暮らしの中で育まれてきた音文化の多様性を理解し、日本文化の基層について考えることを目指します。 2. 主な内容： ①子どもの遊びと音：わらべうた わらべうたを事例として、子どもの遊びと歌との関わりについて学びます。遊びの歌とその種類、特徴や違いにも目を向け、日本人の音感覚や歌の文化について理解を深めます。 ② 地域の祭りと音：祭礼と民俗芸能 祭礼や民俗芸能を事例として、人々の暮らしや信仰と音との関わりについて学びます。それぞれの特色や継承のあり方にも目を向け、地域文化における音楽や芸能が果たしてきた役割を考えます。				
講師からのメッセージ				
祭りの音や子どもの遊び歌には、人々の願いや知恵、暮らしの記憶が息づいています。 本年度は、3年間にわたる「音楽文化を学ぶ」第一歩として、民俗音楽を通じて日本の音文化に親しみます。音や歌を手がかりに文化への理解を深め、新たな発見を皆さんとともに楽しみたいと思います。				

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術 コース	音楽文化 専攻	対象学年	1年
講義日	令和 8 年 10 月 13 日（火）			
テーマ	映画音楽史～映画における音楽の歴史・機能・伝統的なスタイルについて～			
講 師	神戸大学大学院 博士後期課程 肥山紗智子			
講義内容				
キーワード： 映画音楽の歴史・機能・分類				
第1回 映画音楽史				
① サイレント映画時代の音楽 – 音楽の必要性 サイレント(無声)映画時代には、映画の物語をよりわかりやすく、効果的に伝えるために、音楽が活用された。映画音楽の役割の原点について解説する。				
② トーキー黎明期の音楽 1927 年、映像と音声・音楽を同期させる技術が開発され、トーキー(発声映画)の時代が始まった。トーキー黎明期に模索された「音」の演出について解説する。				
③ シンフォニック・スコア時代の産物 1930 年代中頃からアメリカ映画を中心に、巨大な編成のオーケストラによる映画音楽が主流となる。シンフォニック・スコアが必要とされた背景や役割について解説する				
④ 映画の音／音楽の分類 – 映画の音／音楽による多様な表現 映画音楽研究における映画の音／音楽の基礎的な分類を解説する この講義では、基本的に音楽を映像から切り離さず、映像との関係性について解説する				
講師からのメッセージ				
本講義では、1920～50 年代の映画、特にアメリカ映画を中心に扱いますが、そのような古典的な音楽(音響)演出の技法が、それ以後の作品でどのように継承されているのかについても触れたいと思います。皆様が現在の映画とその音楽も、より面白く鑑賞できるような内容になるよう努めます。				

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	1 年
講義日	令和 8 年 10 月 20 日(火)		
テーマ	音楽の文法		
講 師	神戸大学国際人間科学部 非常勤講師 前田 裕佳		
講義内容			
■テーマ、ねらい 「旋律」、「音階」、「リズム」、「和声」、「調性」、「倍音」、「音色」などの音楽を形成する要素について、歴史的背景に沿ってその当時の音楽作品を交えつつ辿っていきたいと思います。それらの音楽の要素についての変遷を辿る中で、音楽についてより柔軟な思考が広がることを実感して頂ければと思っております。			
■主な内容 (午前) ・旋律の始まり…グレゴリオ聖歌とその音階 ・和声の始まり…バロック時代の音楽。J-Ph.ラモー ・調性の発展…ロマン派の音楽と、R.ヴァーグナー「トリスタンとイゾルデ前奏曲」 ・調性の崩壊…C.ドビュッシー周辺 (午後) ・12 音技法、セリー音楽…A.シェーンベルク、P.ブーレーズ ・様々な旋法、音階…M.ラヴェル、O.メシアン ・ミニマルミュージック、スペクトル音楽…ライヒ、グリゼー ・まとめ…旋律とは？音色とは？リズムって？			
講師からのメッセージ			
1 日で西洋音楽の歴史を辿りつつその音構成について思考していくので、かなり駆け足ではあります……。様々な時代の音楽を聴いて頂くことによって、音楽を観賞することや音楽を演奏することが、より充実した豊かなものとなって頂ければと思っております。			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	1 年
講義日	令和 8 年 10 月 6 日(火)		
テーマ	音と音楽		
講 師	神戸大学国際人間科学部 非常勤講師 前田 裕佳		
講義内容			
■テーマ、ねらい 【音楽の文法】の前段階として、「音」と「音楽」、さらにその境界について、西洋音楽の歴史的背景を交えつつ考察し、午後からは、音楽の概念が大きく拡大した20世紀以降における音と音楽の境界について考えたいと思います。			
■主な内容 (午前) ・音とは…基音と倍音 ・西洋音楽の始まり？…古代ギリシアの思想を交えて ・西洋の音、東洋の音…音の捉え方の相違、噪音など (午後) ・騒音主義…ルイージ・ルツソロ ・ジョン・ケージ…「4分33秒」、音具の拡大 ・さらに拡大した音楽概念について			
講師からのメッセージ			
音と音楽の境界は、明快である場合もあれば、ある意味では不明瞭であり、様々な解釈が可能であると考えております。普段何気なく聴いている音楽や、耳に入ってくる音について、これまでとは異なる側面から考察して頂ければ幸いです。			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	対象学年	全学年
講義日	令和8年9月3日(木)・9月10日(木)		
テーマ	合唱の楽しさを味わおう		
講 師	合唱指揮者 兵庫県合唱連盟副会長 矢田 正一		
講義内容			
1. 目標 合唱の楽しみ方は2人から大人数までいろいろな形態がありますが、シルバーカレッジでは全学年の大人数学生による合唱の楽しさを体験していただきます。 多くの人の声を重ねて表現する合唱が、生きる喜びにつながるようにと期待しています。 2. 内容 基礎理論の理解 読譜力、固定ド唱法と移動ド唱法 日本における合唱の黎明期 発声の基礎 美しい声と声量 効果的な発声による歌唱力を身に着ける ハーモニーの理解 表現力を高める合唱への挑戦 生涯忘れられない名曲の合唱版 3. 名曲を合唱で 表現なくして成り立たない音楽のすばらしさを、名曲に乗せて楽しく体験しましょう。			
講師からのメッセージ			
大きな声量で歌えば、健康に良いことがよく知られています。同時に腹筋を鍛えて歌うことで、寿命が延びることを実感しましょう。さらに表情豊かに歌う喜びを体験するとともに、声を重ねる合唱の楽しさを存分に味わいましょう。			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	1 年
講義日	令和 8 年 6 月30 日(火)		
テーマ	音・ひと・くらし ―身近な音響学―		
講 師	神戸大学大学院工学研究科建築学専攻 教授 阪上 公博		
講義内容			
1. ねらい みなさんは主として音楽文化の理解を深めるために、音楽に関連する諸学を学ばれるわけですが、音楽のもととなる「音」そのものについて、理解を深めることで、人間と音との関わり、ひいては音楽との関わりへと、さらに幅広い知見を身につけていただくのが狙いです。 2. 主な内容 本講義では、テーマを「音・ひと・くらし」と題して、さまざまな場面での音と人間の関わりを考えてみたいと思います。「音」は物理現象であると同時に、耳で感じる聴覚事象でもあります。本講義では理論的な内容は最小限として、身近な音の話題を取り上げます。 (1) 音と人間 ひとが音をどのように聞いているか、音はどのように伝わるかを、身近な例を挙げてご紹介します。 (2) 音とくらし 音が人間のくらし、そして街、ひいては社会にどのようにかかわっているか、音環境学、都市音響学と呼ばれる分野の立場から、ご一緒に考えてみたいと思います。 (3) 音と音楽 みなさんが学ぶ音楽を「聴く」ための空間について、建築音響学と呼ばれる分野の立場から、実例を挙げてご紹介します。			
講師からのメッセージ			
音響学の立場から音と人間の関わりを考えてみたいと思います。			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	1年
講義日	令和8年 6 月 23 日(木)		
テーマ	唱歌と童謡		
講 師	大阪芸術大学教授 吉良武志		
講義内容			
わが国の唱歌や童謡はどのように誕生したのでしょうか。 明治期、学校教育の中に教科「唱歌」として音楽を取り入れた経緯を概観することから始め、「言文一致唱歌」「童謡運動」、戦後の「新しい子どもの歌」と辿っていきます。 歴史を学習するだけではなく、その時代に歌われた歌をみんなで歌いながら、音楽文化の流れを感じ取っていただきたいと思いますと考えます 後半には、小学校の音楽教科書の中から、講義時期に合わせた教材を扱って参ります。 I. 音楽の伝来 II. 唱歌の誕生 ・学制 ・伊澤修二の留学 ・メーソン先生との出会い ・音楽取調掛 ・「小学唱歌集」 III. 教育の場に来た世界の民謡 IV. 新しい歌の台頭 ・言文一致唱歌 ・滝廉太郎 ・月刊雑誌『赤い鳥』と童謡運動 ・ラジオとレコード V. 戦後、子どもの歌の新生 ・『鐘の鳴る丘』(連続放送劇) ・放送番組の変化			
講師からのメッセージ			
前述の通り、歌いながら講義内容を感じ取っていただきたいと思いますと考えます。 音楽のない民族はありません。(厳密には楽器を持たない民族はいますが、歌のない民族は存在しません)			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	対象学年	1 年
講義日	令和8年5月 11 日(月)、6月9日(火)、7 月7日(火)		
テーマ	呼吸法と初歩の発声(1)(2)、(3)(4)、(5)(6)		
講 師	声楽家 町田 百々子		
講義内容			
1. ねらい			
楽器としての自分の体を認識し、より良い発声を身につける。			
2. 主な内容			
(1) 体の使い方を理解する			
(2) 声の出る仕組みを学ぶ			
(3) 発声のための呼吸法を実践する			
(4) 教材(日本歌曲・イタリア歌曲)を使って実際に歌う			
(5) 歌に適した発語を学ぶ			
教材:コンコーネ 50 番中声用			
赤とんぼ			
椰子の実			
カーロ・ミオ・ベン その他			
講師からのメッセージ			
みなさん、歌はお好きですか？			
「歌は好きだけど、大きな声が出ない」「人前で歌うのは恥ずかしい」と、様々な悩みをお持ちの方は多いと思います。でも声は鍛えれば生涯成長します！楽しんで歌いましょう！			